

2018 年 3 月 5 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 3 回「将来原子力システムのための再処理技術」研究専門委員会
開催日時	2018 年 3 月 1 日(木)13:30～17:00
開催場所	長岡技大東京サテライトキャンパス(田町) セミナー室
参加人数	22 名 鈴木主査、竹内幹事、他
議 事	1. 主査挨拶 2. 講演:「アクチノイド錯体化学を駆使した沈殿法再処理技術先進基盤研究」(東京工業大学:鷹尾康一郎 氏) ピロリドン誘導体によるアクチノイド沈殿の構造特性に基づく沈殿剤の分子設計の考え方や再処理技術への適用などについて紹介があった。 3. 講演:「放射線環境下における各種ロボット技術の紹介」(日立 GE ニュークリア・エナジー(株):岡田 聡 氏) 福島第一原子力発電所の廃止措置に関連し、開発された各種ロボット技術や再処理技術への適用可能性を有するロボット技術などについて紹介があった。 4. 講演:「最近の晶析工学の動向」(早稲田大学:平沢 泉 氏) 所望の結晶を自在に創るためのポイントとして、並行論や速度論を含む基礎的事項から医薬品や食品における晶析工学の研究動向などについて紹介があった。
備 考	

2017 年 12 月 26 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 2 回「将来原子力システムのための再処理技術」研究専門委員会
開催日時	2017 年 12 月 25 日(月) 13:30～17:00
開催場所	(一財)電力中央研究所 大手町本部 733 会議室
参加人数	24 名 鈴木主査、本間幹事、有田幹事、松村幹事、姫野幹事、飯塚幹事、島田幹事、渡邊幹事、大森幹事、竹内幹事、竹下委員、笹平委員、坂本委員、菊池委員、中林委員、永井委員、堀井委員、大中委員、宇留賀委員、長谷川委員、菊野委員、高橋委員、高馬(森岡委員の代理)、東工大 梶川先生
議 事	1. 主査挨拶(鈴木主査) 2. 講演:「原子力システムと将来ビジョン」(東工大:梶川先生) 原子力システムの将来に係る独自のビジョンに基づき、「科学技術とイノベーション」、「エネルギー技術と社会実装」、「原子力システムと将来ビジョン」の構成の下、幅広い視点で説明があった。 3. 講演:「高レベル放射性廃液からのモリブデン・白金族分離とガラス固化・最終処分への影響」(東工大:竹下委員) フェロシアン化アルミニウムを利用した高レベル放射性廃液からのモリブデン及び白金族元素の分離技術開発の状況について紹介をいただくとともに、これら元素の分離によるガラス固化体の処分への影響等について説明があった。 4. 講演「レーザーの分離・分析への応用」(長谷川委員) レーザー法による同位体分離技術や本技術による分析技術への応用について紹介いただくとともに、核燃料サイクル分野の概念の見直しと先進技術を適用する上での制約等を含めて説明があった。 5. その他 日本原子力学会 2018 年春の年会で、当委員会の企画セッションとして、「将来原子力システムの再処理における核種分離と分離変換技術意義」で開催する旨、鈴木主査より周知された。
備 考	・次回委員会は来年 2/28 又は 3/1 に開催する方向で検討中

2017 年 10 月 31 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 1 回「将来原子力システムのための再処理技術」研究専門委員会
開催日時	2017 年 10 月 30 日(月)13:30～17:00
開催場所	電力中央研究所 大手町本部 733 会議室
参加人数	22 名 鈴木主査、本間幹事、他
議 事	1. 主査挨拶および委員自己紹介 2. 委員会設立の経緯と趣旨説明 鈴木主査より説明がり、その後意見交換を行った。 3. 前委員会の概要と報告書の進捗状況 前委員会「将来世代のための再処理技術研究専門委員会」の概要説明と報告書の進捗状況について本間幹事(前委員会主査)より説明があった。 4. 講演:「福井大学における再処理関連研究紹介」(福井大学:有田裕二 氏) 乾式再処理や溶融塩炉で使用される溶融塩の基礎特性に関する研究、金属燃料に対する再処理プロセス不純物の影響等に関する研究紹介があり、その内容について議論した。
備 考	